

令和7年度 相模原市立南障害者地域活動支援センター 事業報告 (令和7年4月～令和8年3月)

1. 相談支援事業

令和5年度の相談件数【基本相談】 3283件(令和6年度2960件、令和5年度3308件)

【指定相談】 2073件(令和6年度2481件、令和5年度3053件)

《基本相談支援》

基本相談実利用者数136名(令和6年度145名、令和5年度219名)

面接相談、電話相談ともに件数は増加しており、基本相談としては一日平均で13件ほど対応している。面接相談では、困ったことがあって相談に来る方もいるが、定期的に面談場面を設けることで、自身の状況を整理できたり、日常生活の安定につながっている方もいる。必要な情報提供をおこなうこともあるが、困りごとを解決していくためにどうしていくか、その方の意向を尊重しながら一緒に考えていくという姿勢を大事にしている。精神疾患による症状のつらさだけでなく、さまざまな生きづらさを抱える方にとって、信頼関係に基づく、安心して話せる場が提供できている。電話相談は、外に出ることが難しく孤立しがちな方にとって、人とつながることができる数少ない機会であり、話を聞いてもらえるという安堵感につながっている。一方で、電話相談は息つく暇がないペースでかかっているため、つながりにくいという声もいただいている。

《指定特定相談(計画相談)》

対象者47名(令和6年度78名、令和5年度81名)

相談支援専門員の退職(常勤1名、非常勤1名)があり、ケース数の調整の必要性が生じている。令和7年度中に契約終了者数が32件あり、障害福祉サービス利用終了10件、逝去2件、転居1件、介護保険への移行5件、他事業所への移管14件となっている。最も多い他事業所への移管に関しては、南区以外にお住まいの方を中心に調整し、法人内の他の事業所だけでなく、その方が住んでいる近隣の事業所につないでいった。しかし、契約終了者の中には、地活の相談の枠組みで継続的に関わっているケースもあり、形を変えながらも関わり続けられることは、当事業所の強みである。また、支援の状況としては、本人の加齢や体調変化により、精神科以外の医療機関との連携が必要となるケースが増えてきている。ADLの変化に伴い、退院後のサービス調整が必要となり、退院前カンファを実施することもあった。

《指定一般相談(地域移行支援)》

対象者 0名

《指定一般相談(地域定着支援)》

対象者 0名

2. 地域活動支援センター事業

利用登録者数 1086名(登録累計 1178名、登録取消累計 92名)

新規登録者数 41名(令和6年度 36名、令和5年度 39名)

来館者数 延べ4212名(令和6年度 3898名、令和5年度 4709名)

《生活支援事業》

<プログラム>

① 生活教室つくし

毎週水曜日午後／ 47回実施／ 延べ108名参加／

固定メンバー制。常勤職員1名とボランティアで運営。

令和7年度は登録メンバー3名で開始し、年度途中で、1名卒業、2名新規登録となり、年度末には登録メンバー4名となった。ボランティアを導入し、職員と登録メンバーの間に入ってもらうことで、見守りしてもらえる安心感を持つことができた。プログラムは登録メンバーと話し合って決め、「園芸(種まきから収穫まで)」「絵画」「お菓子作り」「調理」などを増やし、内容の充実にも努めた。プログラムを通して、それぞれの登録メンバーの得意な面を知ることができ、さらに伸ばすことができ、登録メンバーが認め合うことによる自己肯定感の高まりがみられた。課題は、少人数のプログラム故に、欠席者がいるとグループワークが成り立ちにくくなることがあった点である。長期間休む登録メンバーがいたため、プログラム運営にも影響が出てしまった。

② グループセッション

第4日曜日／ 11回実施／ 延べ57名参加／

センターで定期購読している月刊誌「こころの元気+」の中の特集記事を利用して、皆で読み合わせをした後にそれぞれが印象に残ったことを話し合うという流れで活動してきた。障害当事者が投稿している記事を用いているので、毎回共感できる内容で深く考えさせられることが多かった。よかった点は、参加者同士の関わりでも、批判的な態度が出ず、他の参加者の意見にも受容的であったことである。職員側で難しさを感じた点は、参加者の感情表出への対応が挙げられる。フォローしたり、話を戻すための介入をしたり、参加者同士のセッションにならない場面では職員がまとめるような、ファシリテーターの役割を担う必要性があった。加えて、話題によっては職員から制度などの専門知識の説明で補わなければならない場面もあった。

③ 食に関するプログラム

第1土曜日午前 カレーの日／ 12回実施／ 延べ26名参加／

第3土曜日午後 作って食べよう美味しいごはん／ 11回実施／ 延べ37名参加／

キッチン開放日／ 12回実施／ 延べ4名参加

自炊への意識を高めるため、調理過程から活動に参加することを推奨しているプログラムとなっている。自分で作って食べるという流れに充実感を味わってもらい狙いもある。活動しやすい時間帯に参加できるよう、調理プログラムを午前と午後に分けて設定した。

【カレーの日】毎月違うカレーのメニューを提供する工夫をしていたが、数年継続しているため、マンネリ化してしまったのか、参加人数が伸びなかった。しかし、少人数だからこそ、個別対応がしやすく、参加回数を重ねて調理スキルが向上し、主体性が見られるようになった方がいた。買い物から職員と一緒にこなすため、予算を意識しながら、よりいい物を作ろうとする意欲が感じられた。

【作って食べよう美味しいごはん】料理の楽しさを体験してもらうようなメニューを考えて実施した。副菜を多くすることで、参加者それぞれに作業が割り振れるようにしていった。クリスマスメニューのときは、参加者が多く賑やかで、いつもより作る品数も多かったが、皆で協力して頑張ろうとする姿が印象的だった。令和6年度よりは参加人数が増えたが、定員枠が余る月もあった。

【キッチン開放日】年度当初は、職員がキッチンで作業しながら待機する体制をとっていたが、キッチンを利用する方がいるかどうか読めなかったため、職員の待機はなしにし、キッチン利用する方がいたときに対応する体制に切り替えた。食材の準備も調理も自分でおこなうものだが、支援が必要な方もいた。

④ 外出企画

第1と第3日曜日／ 話し合い22回 外出イベント4回実施／ 話し合い延べ82名参加 外出イベント延べ20名参加／

【話し合い】予算1,000円以内でできる外出を企画した。外出スポットの情報を伝えながら、想像を膨らませたり、限られた予算でどうするかを皆で考える中で、アイデアを出しているときは盛り上がりつつあった。出発地がセンターであること、予算が限られていることもあり、散歩と食事の組み合わせというワンパターンになりがちだったが、最後は多数決で決めていった。

【外出イベント】当日の参加者は多かった。話し合いの結果、短い時間の外出となったため、参加者が疲れない範囲でおこなうことができた。途中、トイレに行きたいという参加者がいたりするため、複数の職員で同行する必要がある。立ち寄るスポットは、ファルクス、ガスト、ドトール、モスバーガーなど、小田急相模原駅や相模大野駅付近が多かった。食事をしながら歓談するときは、職員が話題をふることで会話のきっかけとなることがあったが、参加者同士の会話が自発的に発生することが少なく、仲の良い参加者同士が固まってしまう場面もあった。職員が一緒にいることで、安心して外出できるという声もあった。

⑤ 生保交流会

第3土曜日／ 11回実施／ 延べ20名参加

生活保護の受給者を対象とした交流会のため、少人数でのプログラムとなった。フリートークの形式でおこなったが、日常生活における節約について、情報交換したり、どんな工夫をしているのかという話題が多かった。他にも、福祉サービスを利用している方から、通所の話題が出ることもあった。

⑥ 集い

第2土曜日午後／ 12回実施／ 延べ57名参加

皆で何かを一緒にやろうという趣旨に変更し、毎月のテーマを模索しながら実施した。若者の集いは、参加者3名だったが、会話が苦手な方が人の輪に入ろうとしたとき、共通の話題が必要で、職員がフォローすることもあった。室内でできる身体を動かすもので、卓球とボーリングを企画したところ、卓球は参加者が集まり、ボーリングは集まらなかったりと、参加人数にバラつきがあったが、需要はあった。参加者を増やすため、利用者の要望に応じて俳句も実施した。外に出かけて俳句の材料を探すのが楽しかったという声が聞かれた。それぞれ作った俳句を発表し、お互いに人が作った俳句の意味を考えたりすることで、心情を慮る体験につながった。集いのプログラムを通して、普段フリースペースで絡まない人と関わるきっかけとなった。茶話会では、お茶菓子を用意し、出入り自由のスタイルをとったことで、賑やかな回となった。

⑦ 就労ミーティング

第4土曜日午後／ 6回実施／ 延べ38名参加

働いている人、働きたいけどまだ働いていない人、A型、B型、オープン就労、クローズ就労など、その方の置かれている状況に違いはあるが、就労をテーマとした話し合いをおこなった。サイコロトークを用いて、参加者それぞれに発言してもらったが、内容によっては興味の有無が分かれたり、難しい話になってしまうこともあった。事業所選びをどうやって進めたかなど、実体験を交えた話が出ることも多く、特に実際に就労している方の話は説得力があった。参加者の就労への関心の高さがうかがえた。

⑧ ヘラスクラブ

第4日曜日午前／ 11回実施／ 延べ27名参加

参加者それぞれが減らしたいこと(体重、無駄使い等)だけでなく増やしたいこと(運動の時間、勉強の時間等)について簡単なグラフを作るプログラムで、制作したグラフを基に先月の報告と来月の目標を発表してもらった。中には発表せず黙々と1か月分のグラフを作っている方もいた。発表の内容によっては、体重などのデリケートな話題になることもあり、配慮しながら進めていった。テーマを一貫して設定している方が多く、来月の目標はなぜその目標にしたのか、達成に向けてどのように行動するのか等を話してもらった。

⑨ 清掃ボランティア

第1日曜日午前／ 12回実施／ 延べ32名参加

ボランティア活動への第一歩として、団地周辺のゴミ拾いという負荷がそれほどかからない活動をおこなった。時間も短めにする事で、参加のハードルが下げられたことがよかった。コミュニケーションに課題がある方でも、ゴミ拾いという役割で参加することができていた。普段来所しない利用者が清掃ボランティア目的に来ることもあった。

⑩ 散歩

第3日曜日午前／ 10回実施／ 延べ21名参加

ゆっくりのんびり散歩する回、しっかりとがっつき散歩する回と、月によって差をつけて実施した。夏場は中止にしたり、距離を短くするなど、安全面にも配慮した。一人の散歩より、誰かと一緒に散歩する方がいいという意見をいただいている。職員を介して会話に入ったり、ひたすら歩くスタイルの方もいた。

⑪ 編み物・手芸

第1金曜日午後／ 12回実施／ 延べ29名参加

自宅でやっているものを持ち込んで取り組む方がいて、お互いに作品を見せ合ったり、刺激を受けたりと交流が見られた。塗り絵など、手芸以外のことに取り組むことも可としたことで、参加のすそ野が広がった。女性参加者が中心となっているため、女子会のような雰囲気でおこなうことができた。

⑫ きまぐれナイトシアター

第3金曜日午後／ 11回実施／ 延べ26名参加

プロジェクターでスクリーンに映し出すことで、家とは違った雰囲気映画鑑賞できるプログラム。洋画、邦画、アニメなど、月ごとにジャンルを変えて上映する映画を選定した。趣味の合う合わないもあり、月によって参加人数にバラつきがあった。アニメは興味を持つ方が多かった。

⑬ メイクの時間

第2土曜日午前／ 12回実施／ 延べ16名参加

普段メイクをしない方は、メイクに詳しい方に教えてもらいながら楽しく参加できていた。後半の時間は、メイク以外の好きなこと、健康のことなど、参加者同士で交流できるようにした。メイクだけでなく、簡単にできるストレッチやトレーニングを取り入れたところ、男性利用者が参加するようになったが、逆に女性利用者が参加しづらくなる状況になってしまった。

⑭ 女子会

1回実施／ 4名参加

お茶菓子をつまみながら、おしゃべりをした。女性同士の会話が盛り上がり、スマホで上手に写真を撮るにはどうするか意見交換していた。普段来所しない女性利用者が参加していて、女性だけという安心感があつたと思われる。

⑮ ○○の世界

1回実施／ 1名参加

自分の趣味を深掘りして発表するプログラム。準備(話す内容、当日の流れ、リハーサル)を職員と一緒にこなしたが、当日は聞き手となる参加者がいなかった。趣味を通して、自分のことを知ってほしいという希望で開催したが、テーマが決まっているため、興味のあるなしが影響した。

⑯ 季節のイベント

3回実施／ 延べ19名参加

【うちわ作りとかき氷】参加者が多く賑やかなイベントとなった。それぞれ自由にうちわを作り、見せ合っていた。時間が余ったため、卓球もおこない、盛り上がった。

【クリスマスツリーの飾りつけ】皆で楽しく飾り付けできていた。1つのツリーに飾りをつけるため、参加者同士がぶつかってしまふ場面があつたものの、できあがったツリーを見て、達成感を共有することができ、盛り上がっていた。

【豆まき】センター近くの神社の豆まきイベントに参加した。地域のイベントをセンターのプログラムに組み込んだことで、地域の活動を知るきっかけとなった。豆まきには地域住民がたくさん参加していたため、安全面が課題となった。

《フリースペース、プログラム、利用者に関すること》

慣れ親しんだ職員の退職や異動が影響し、センターの利用から離れた利用者もいるが、一方でプログラムや面談、お風呂、洗濯といった明確な目的を持って、変わらず継続的に利用している利用者もいる。新規登録者の中には利用頻度が多い方もいるので、利用者の顔ぶれが変化した一年だった。フリースペース、プログラム両方に共通しているのは、利用者同士の関係性が利用するしないに影響している点である。特に顕著なのは、女性利用者と男性利用者の関係性で、女性利用者から利用しづらいという意見を受けている。女性利用者が安心して利用できる機会を提供できるよう、プログラムの見直しを図っていきたいと考えている。

【地域交流事業】

<FESTAみなみ風>

令和7年10月26日開催／ 来場者261名(市民220、利用者41)

演目、自主製品販売、フリーマーケットなど、来た人が楽しめる内容を企画した。福祉事業所やセンター利用者だけでなく、地域の様々な団体にも協力していただいたことで、市民がセンターの存在や精神保健福祉にふれる機会となった。

模擬店出店協力者は、あーとはうす、一葉、きらら、けやきの会、シェーン相模大野、精神保健福祉グループひびき、poco a poco ♪、マイマビリィ、センター利用者。ステージ協力演者は、麻溝台高校吹奏楽部、チアダンスLiL☆(リルスター)、阿伝連(阿波踊り)、つくし合唱団、芸音クラブ、利用者パフォーマーである。

<さがみハート展>

本展 1月22日～1月26日(5日間)開催／ 来場者729名

精神障害者が綴った詩に対し、市民画家が絵を描き、詩と絵をコラボして展示するもので、センターは実行委員として、実行員会の参加、作品募集、作品の貼り付け作業など、企画から開催に至るまで参画した。さがみハート展の継続を望む声がある一方で、担い手や予算の不足が課題となっている。

【ネットワーク会議】

<南区精神障害者地域生活支援ネットワーク会議>

会議 4回開催／ 延べ78名出席

南区内で精神障害者の支援をしているサービス提供事業所、行政機関、医療機関等が集まってもらっている。それぞれの取り組みを共有したり、困っていることへの意見交換をおこないながら、南区内のネットワーク作りの場としている。またセンターからは、「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」についての情報提供をおこなった。参加者からは、横のつながりを持てる機会がなかなかない、同業種のネットワークがほしい、困った時に相談できると助かる、同じ地域で働いている仲間を持つと心強いという感想をいただいている。

令和7年度 事業報告

相談支援事業

項 目	報 告	連携が必要な関係機関
基本相談支援	電話相談・面接相談 同行・訪問・連携	別紙
地域相談支援	地域移行支援 地域定着支援	別紙
計画相談支援		行政、日中活動関係事業所、居宅介護事業所、医療機関、社会福祉協議会、就労関係機関、自立支援協議会、他

地域活動支援センター事業

事 業	項 目	報 告	連携が必要な関係機関
開所日数と来館利用者数		255日開所 延べ4212名利用 平均 16.5名/日(平日14.3名 土日祝19.5名)	
生活支援事業	食事プログラム	月に1回カレーの日 12回 参加者延べ26名 作って食べよう! 美味しいごはん 11回 参加者延べ37名	
	キッチンの提供	キッチン面談 利用なし キッチン開放日 12回 参加者延べ4名	
	入浴	延べ 228名利用 平均 1.0名/日	
	洗濯	延べ 86名利用 平均 0.3名/日	
	生活教室	47回開催 参加者 延べ108名	医療機関、ボランティア、他
	自立した日常生活及び社会生活のためのプログラム	グループセッション 11回 参加者延べ57名 メイクの時間 12回 参加者延べ16名 集い 12回 参加者延べ57名 就労ミーティング(奇数月) 6回 参加者延べ38名 キャリアカウンセリング(偶数月) 6回 参加者延べ9名 生保交流会 11回 参加者延べ20名 外出企画(話し合い) 22回 参加者延べ82名 外出企画の外出イベント 4回 参加者延べ20名 編物手芸 12回 参加者延べ29名 ヘラスクラブ 11回 参加者延べ27名 散歩 10回 参加者延べ21名 ナイトシアター 11回 参加者延べ26名 清掃ボランティア 12回 参加者延べ32名 女性の集まり 1回 参加者4名 * 季節のイベント(うちわ作りとかき氷) 参加者8名 * 季節のイベント(クリスマスツリーを飾ろう) 参加者8名 * 季節のイベント(豆まき) 参加者3名 《その他》 ※ボランティアセンターとボランティア募集の打ち合わせ ※相模台第一包括と新規プログラム打ち合わせ	市民ボランティア、学生ボランティア、社会福祉協議会、包括、他
	〇〇の世界 (利用者主体のプログラム)	1回	
	家族支援(家族の集まり)	11回 参加者延べ29名	
	市民相談	24件	
地域交流事業	団体連携	【みどり会(相模原市精神障害者家族会)】 定例会(おたより提供) 11回 福祉サービス等の制度説明 【ひびき(精神保健ボランティアグループ)】 おたより提供 【当事者会】 相模原市精神障害者仲間の会(あしたば会)情報提供 【その他の団体】 子ども食堂、ドキュメンタリー映画を上映する会、チームオンリーワン、ラフレックス法人研修	カミング、緑第一地域活動支援センター、他
	場所提供	子ども食堂 8回 ドキュメンタリー映画上映 2回 チームオンリーワン 1回 利用者 4回	精神保健福祉関係の活動を行なう団体及び個人
	社会参加促進	【地域の祭り・イベント】 相模台福祉まつり手伝い 【FESTAみなみ風】 10/26開催 来場者261名 【子ども食堂】 8回	自治会(地域)、地区社協、ボランティア、福祉事業所、他
	普及啓発	【FESTAみなみ風】 チラシ配布、出演店団体打ち合わせ、等 【相模台地区社会福祉協議会】 理事職辞命 【ボランティア】 ボランティア募集打ち合わせ 【さがみハート展】 実行委員会 5回、作品募集、貼り付け作業、等 1/22～1/26(5日間)開催 来場者729名	ひびき、地域、学校等、社会福祉協議会、行政、ボランティア、他
	情報提供	みなみ風だより発行・配信、HP管理 市内事業所、他支援センターのおたより等の情報提供 社会資源の紹介、各種催事・講演会・講習会などの情報提供 利用者への一般図書・CD等の貸し出し	自治会、行政、医療機関、日中活動関係事業所、就労関係機関、グループホーム、学校、家族会、ボランティア、当事者、他
情報提供事業	情報収集	情報提供のための資料等の収集	

ピアサポート	ピア相談	面接相談 22回実施 相談10件 電話相談 週2回(火金) 207件	カミング、行政
	ピアカムの活動支援	【ピアカム話し合い】 9回 【ピアトークinみなみ風】 1回 ピア2名 参加者3名 【ピアカムの活動を知ろう】 1回 ピア2名 参加者1名	カミング、他市地域活動支援センター、行政、他
	ピアサポーターの養成	【養成研修】 全4回開催 延べ30名受講 【ピア相談フォローアップ研修】 4回開催(ピア相談フォローアップ研修、リカバリーフォーラム動画上映会、文通フォローアップ研修、ピアサポート交流会～オンライン～)	カミング
	ピア普及活動	【ピアカムだより】増刷して館内に設置 【活動紹介】ピアカム紹介チラシを増刷して館内に設置	カミング
	入院者訪問支援事業 ※令和8年度より実施予定	訪問支援員研修受講 プレ訪問(相模湖病院) 1回	カミング、精神保健福祉課
その他	フリースペースの維持管理	居場所の提供、日常的な相談支援、PCその他の備品管理	
	防災訓練	消防訓練、AED講習会、相模台地区防災ネットワーク協議会	
	労働環境	メンタルヘルスに関する聞き取り(職員会議または個別で実施)	
	点検、修繕等	消防設備点検 2回、建物設備点検 1回、自動ドア点検 2回 非常灯修繕	

会議【事業所または法人が主催するもの】

項 目	報 告	連携が必要な関係機関
南区精神障害者地域生活支援ネットワーク会議 (南地区支援機関ネットワーク)	4回	医療機関、行政、日中活動関係事業所、グループホーム、居宅介護事業所、就労関係機関、相談支援事業所、他
I 型会議(地域活動支援センター I 型会議)	施設長会議 1回	線第一障害者地域活動支援センター、ぶらすかわせみ、カミング
I 型事例検討会議 (地域活動支援センター I 型事例検討会議)	降雪のため中止	線第一障害者地域活動支援センター、ぶらすかわせみ、カミング
社会福祉法人かむ 法人会議	経営会議 10回、理事会 3回、評議会 3回	
南障害者地域活動支援センター 職員会議	47回(毎週水曜日)	
南障害者地域活動支援センター 電話相談担当者会議	3回	

会議【事業所が出席するもの】

項 目	報 告	連携が必要な関係機関
相模原市障害者自立支援協議会	南区課題検討会 4回 日中支援型GH評価ワーキング	
南障害者相談支援キーステーション	GSV 8回、運営連絡会 1回	
相模台地区社会福祉協議会	児童・障害者部会 4回	
精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進会議	2回	行政
雇用移行推進連絡会議	3回	市内の障害者主労支援機関
相模原市営南台団地管理組合	11回	相模原市営団地管理センター

職員研修、実習指導

項 目	報 告	連携が必要な関係機関
職員研修	法人研修	利用者さんの権利擁護を考える
	内部研修	～相談支援事業所向け～報酬・加算について学ぶ 神奈川県相談支援従事者初任者研修 神奈川県相談支援従事者専門コース研修(地域移行、地域定着、触法) 市民公開講座 燃え尽き症候群って？ 誰もが自分らしく～障がいのある人のしごと応援シンポジウム～
	外部研修	相模原市の障害福祉制度 高次脳機能障害講演会～当事者の心の動きとピアの力について～ 統合失調症 初任者研修インターバル 入院者訪問支援事業研修 大人の発達障がいケーススタディ 相談支援専門員オープンデスク カミング見学
	専門研修	協働型で相談支援の質の向上と基本報酬アップ～地域生活支援拠点等との協働～ 法人格を越えてつながる地域福祉～社福、NPO、株式、一社等～ 知らないって遅い？LGBTQ+のこと 福祉事業所が地域と連携するための視点
実習指導	(精神保健福祉士) 東京豊島IT医療福祉専門学校 1名(15日間) 聖徳大学 精神保健福祉援助実習 2名(16日間、8日間) (社会福祉士) 田園調布学園大学 1名(23日間) (作業療法士) 北里大学 3名(5日間)	相模原市、相模原市社会福祉事業団、神奈川県精神保健福祉士協会、相模原市、他 大学、福祉系専門学校、精神保健福祉関連団体、地域社会資源

その他

利用満足度アンケート実施
実地調査
指定管理モニタリング

令和7年度 利用登録状況

利用登録者数

性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和7年度までの 利用登録者数	累計	登録取消 者累計	利用登録 実人数
男性	1	2	3	3	1	1	3	2	2	2	1	0	21	564	585	50	535
女性	0	3	1	0	1	4	2	3	2	3	0	1	20	573	593	42	551
合計	1	5	4	3	2	5	5	5	4	5	1	1	41	1137	1178	92	1086
男性比	100%	40%	75%	100%	50%	20%	60%	40%	50%	40%	100%	0%	51%	50%	50%		
女性比	0%	60%	25%	0%	50%	80%	40%	60%	50%	60%	0%	100%	49%	50%	50%		

令和7年度 利用者数集計

フリースペース利用者数

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	22日	20日	21日	22日	23日	21日	22日	22日	20日	20日	20日	22日	255日
男性登録者	179	170	163	145	154	187	238	234	198	213	207	195	2253
女性登録者	95	80	63	69	75	72	65	70	74	74	57	69	863
その他	0	1	0	1	1	2	3	2	1	0	0	1	12
登録外	61	66	73	58	84	114	270	70	49	73	77	89	1084
合計	335	317	299	273	314	375	576	376	292	360	341	354	4212
累計	335	652	951	1224	1538	1913	2489	2865	3157	3517	3858	4212	
平均	15.2	15.9	14.2	12.4	13.7	17.9	26.2	17.1	14.6	18.0	17.1	16.1	16.5
平日平均	15.1	13.2	12.1	11.4	13.3	16.0	13.7	16.0	13.3	17.4	16.1	14.3	14.3
土日祝平均	15.6	19.1	17.1	13.9	14.1	19.9	44.2	18.0	16.6	18.8	18.0	18.2	19.5
30名以上の 利用があっ た日数	1	1	1	0	0	1	1	2	0	1	2	1	11

令和7年度 実利用人数

フリースペース(登録者のみ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数	83	89	78	86	81	87	98	101	85	89	89	90

生活支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入浴実人数	4	7	5	4	3	6	6	9	5	9	7	9
(延べ人数)	21	16	18	20	14	21	22	25	20	18	16	17
洗濯実人数	3	2	2	2	1	2	3	3	3	3	3	2
(延べ人数)	12	6	6	5	4	7	6	8	10	9	6	8

【施設名】 相模原市立南障害者地域活動支援センター

(地域活動支援センター相談支援)

相談支援事業 実績報告書

機関名・事業所名	相模原市立南障害者地域活動支援センター
報告期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日

1. 相談支援を利用した障害者等の人数と障害種別(必須)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	家族相談
障害者	136	5	0	164	3145	541	0	0	16
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	136	5	0	164	3145	541	0	0	16

2. 支援方法(必須)

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	0	350	0	2898	2	0	24	9	3283

3. 支援内容(必須)

	福祉サービスの利用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援		
件数	267	186	299	2758	6	447		
	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計	
件数	186	161	130	292	1	99	4832	

4. 対応結果(任意)

	聴き取り(面接)	モニタリング	情報提供・収集	他機関紹介	同行(サービスマニュアル)	同行(生活支援)	代行	
件数	3174	0	15	0	0	0	0	
	体験利用	体験宿泊	緊急対応	不安の解消	見守り・状況確認	連絡調整	その他	計
件数	0	0	0	51	8	32	3	3283

5. 相談時間(任意)

時間	99360
----	-------

(単位:分)

(計画相談、地域移行、地域定着)

相談支援事業 実績報告書

機関名・事業所名	相模原市立南障害者地域活動支援センター		
報告期間	令和7年4月1日	～	令和8年3月31日

1. 相談支援を利用した障害者等の人数と障害種別(必須)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	70	229	0	201	1948	179	65	0
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	70	229	0	201	1948	179	65	0

2. 支援方法(必須)

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	167	203	27	928	13	26	700	9	2073

3. 支援内容(必須)

	福祉サービスの利用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	
件数	1027	30	334	732	4	247	
	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
件数	92	93	60	84	16	72	2791

4. 対応結果(任意)

	聴き取り(面接)	モニタリング	情報提供・収集	他機関紹介	同行(サービス調整)	同行(生活支援)	代行	
件数	905	238	42	13	13	9	0	
	体験利用	体験宿泊	緊急対応	不安の解消	見守り・状況確認	連絡調整	その他	計
件数	0	0	3	14	117	688	28	2073

アセスメント

3

5. 相談時間(任意)

時間	63580
----	-------

相談支援事業 実績報告書
相談支援合計(基本相談+指定相談)

機関名・事業所名	相模原市立南障害者地域活動支援センター
報告期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1. 相談支援を利用した障害者等の人数と障害種別(必須)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	206	234	0	365	5093	720	65	0
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	206	234	0	365	5093	720	65	0

家族相談
16
0
16

2. 支援方法(必須)

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	167	553	27	3826	15	26	724	18	5356

3. 支援内容(必須)

	福祉サービスの利用に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	
件数	1294	216	633	3490	10	694	
	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
件数	278	254	190	376	17	171	7623

4. 対応結果(任意)

	聴き取り (面接)	モニタリ グ	情報提供・ 収集	他機関紹 介	同行(サー ビス調整)	同行(生活 支援)	代行	
件数	4079	238	57	13	13	9	0	
	体験利用	体験宿泊	緊急対応	不安の解 消	見守り・状 況確認	連絡調整	その他	計
件数	0	0	3	65	125	720	31	5356

アセスメント
3

5. 相談時間(任意)

時間	162940	=2715.67時間 (一日平均 10.65時間)
----	--------	---------------------------

(単位:分)

2025年度(令和7年度)資金収支決算書
相模原市立南障害者地域活動支援センター

コード		予算額	決算額	増減 (決算額-予算額)	執行率	備考
#	障害福祉サービス等事業収入	32,147,000	32,126,705	▲ 20,295	99.9%	
#	自立支援給付費収入	0	0	0		
#	利用者負担金収入	(0)	(0)	0		
#	利用者負担金収入	0	0	0		
#	特定費用収入	120,000	99,705	▲ 20,295	83.1%	利用者入浴、洗濯、プログラム
#	その他の事業収入	32,027,000	32,027,000	0	100.0%	
	補助金事業収入(公費)	(0)	(0)	0		
	指定管理料(公費)	(32,027,000)	(32,027,000)	0	100.0%	
#	受取利息配当金収入	0	18,666	18,666		
#	受取利息配当金収入	0	18,666	18,666		
#	その他の収入	362,000	337,300	▲ 24,700	93.2%	
#	受入研修費収入	300,000	201,000	▲ 99,000	67.0%	実習生受入謝礼
#	利用者等外給食費収入	40,000	46,300	6,300	115.8%	
#	本部業務委託費収入(内部)	0	0	0		
#	雑収入	22,000	90,000	68,000	409.1%	講師謝礼
#	■事業活動収入計①	32,509,000	32,482,671	▲ 26,329	99.9%	
#	人件費支出	24,079,920	24,030,950	▲ 48,970	99.8%	
#	職員給料支出	13,662,200	13,686,368	24,168	100.2%	常勤4名
#	職員賞与支出	3,717,050	3,671,900	▲ 45,150	98.8%	
#	非常勤職員給与支出	3,617,890	3,565,055	▲ 52,835	98.5%	非常勤5名
#	派遣職員費支出	0	0	0		
#	退職給付支出	142,900	142,500	▲ 400	99.7%	福祉医療機構
#	法定福利費支出	2,939,880	2,965,127	25,247	100.9%	常勤4名、非常勤1名
#	■業務費支出	2,544,267	1,897,609	▲ 646,658	74.6%	
#	給食費支出	80,000	86,374	6,374	108.0%	
#	保健衛生費支出	0	0	0		
#	教養娯楽費支出	334,510	282,567	▲ 51,943	84.5%	プログラム材料、ピア相談謝礼、キャリアカウンセリング謝礼、新聞図書
#	水道光熱費支出	1,194,000	1,170,784	▲ 23,216	98.1%	
#	日用品費支出	0	0	0		
#	消耗器具備品費支出	750,000	212,052	▲ 537,948	28.3%	
#	保険料支出(事業)	42,757	35,687	▲ 7,070	83.5%	保険
#	賃借料支出(事業)	87,000	86,515	▲ 485	99.4%	行政財産目的外使用、FESTAテント
#	車輛費支出	20,000	23,260	3,260	116.3%	
#	雑支出	36,000	370	▲ 35,630	1.0%	ボランティア交通費
#	■経費支出	3,709,000	2,583,437	▲ 1,125,563	69.7%	
#	福利厚生費支出	80,000	35,408	▲ 44,592	44.3%	あじさいメイツ、健康診断
#	旅費交通費支出	40,000	6,618	▲ 33,382	16.5%	※研修交通費除く
#	研修研究費支出	10,000	8,760	▲ 1,240	87.6%	研修交通費
#	事務消耗品費支出	120,000	48,927	▲ 71,073	40.8%	
#	印刷製本費支出	100,000	12,643	▲ 87,357	12.6%	封筒
#	水道光熱費支出	0	0	0		
#	修繕費支出	594,000	594,000	0	100.0%	非常灯修繕
#	通信運搬費支出	180,000	71,196	▲ 108,804	39.6%	
#	広報費支出	10,000	4,175	▲ 5,825	41.8%	FESTAチラシ
#	業務委託費支出	1,116,000	681,609	▲ 434,391	61.1%	警備、点検、清掃
#	手数料支出	84,000	39,533	▲ 44,467	47.1%	振込手数料、他
#	保険料支出	0	0	0		
#	賃借料支出	750,000	740,921	▲ 9,079	98.8%	複合機および電話リース、会計ソフト
#	土地・建物賃借料支出	0	0	0		
#	租税公課支出	0	16,346	16,346		
#	保守料支出	600,000	313,301	▲ 286,699	52.2%	UTM、コピーカウンター、給与ソフト
#	渉外費支出	10,000	5,000	▲ 5,000	50.0%	
#	諸会費支出	15,000	5,000	▲ 10,000	33.3%	協賛金
#	雑支出	0	0	0		
#	利用者負担軽減額	0	0	0		
#	支払利息支出	0	0	0		
#	その他の支出	40,000	46,300	6,300	115.8%	
#	利用者等外給食費支出	40,000	46,300	6,300	115.8%	
#	雑支出	0	0	0		
#	■事業活動支出計②	30,373,187	28,558,296	▲ 1,814,891	94.0%	
#	◆事業活動資金収支差額③=①-②	2,135,813	3,924,375	1,788,562	183.7%	
#	施設整備等補助金収入	0	0	0		
#	施設整備等寄附金収入	0	0	0		
#	設備資金借入金収入	0	0	0		
#	固定資産売却収入	0	0	0		
#	その他の施設整備等による収入	0	0	0		
#	■施設整備等収入計④	0	0	0		
#	設備資金借入金元金償還支出	0	0	0		
#	固定資産取得支出	457,000	456,606	▲ 394	99.9%	AED、ノートPC
#	固定資産売却・廃棄支出	0	0	0		
#	ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0		
#	その他の施設整備等による支出	0	0	0		

# ■施設整備等支出計⑤	457,000	456,606	▲ 394	99.9%	
# ◆施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	▲ 457,000	▲ 456,606	394		
# 長期運営資金借入金収入	0	0	0		
# 退職給付引当資産取崩収入	0	0	0		
# 拠点区分間長期借入金収入	0	0	0		
# サービス区分間繰入金支出	0	0	0		
# 拠点区分間長期借入金収入	0	0	0		
# ■その他の活動収入計⑦	0	0	0		
# 長期借入金償還支出	0	0	0		
# 退職給付引当資産支出	136,800	176,000	39,200	128.7%	福利協会事業所負担分
# 修繕費積立資産支出	0	0	0		
# 差入保証金支出	0	0	0		
# 拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0		
# サービス区分間繰入金支出	0	0	0		
# 拠点区分間繰入金支出	1,257,320	1,257,320	0	100.0%	
# その他の活動による支出	0	0	0		
# ■その他の活動支出計⑧	1,394,120	1,433,320	39,200	102.8%	
# ◆その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	▲ 1,394,120	▲ 1,433,320	▲ 39,200		
# 予備費支出⑩	0	0	0		
# ◆当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	284,693	2,034,449	1,749,756	714.6%	
# ◆前期末支払資金残高⑫	1,712,579	1,712,579	0	100.0%	
# ◆当期末支払資金残高⑬=⑪+⑫	1,997,272	3,747,028	1,749,756	187.6%	

2025年度(令和7年度)資金収支決算書

指定相談支援事業所(指定特定、指定一般)相模原市立南障害者地域活動支援センター

	予算額	決算額	増減 (決算額-予算額)	執行率	備考
障害福祉サービス等事業収入	2,040,000	1,877,089	▲ 162,911	92.0%	
自立支援給付費収入	2,040,000	1,877,089	▲ 162,911	92.0%	
計画相談支援・地域相談支援給 付費収入	(2,040,000)	(1,877,089)	▲ 162,911	92.0%	
利用者負担金収入	0	0	0		
特定費用収入	0	0	0		
その他の事業収入	0	0	0		
補助金事業収入(県)	(0)	(0)	0		
補助金事業収入(市)	(0)	(0)	0		
受取利息配当金収入	0	0	0		
受取利息配当金収入	0	0	0		
その他の収入	0	0	0		
受入研修費収入	0	0	0		
利用者等外給食費収入	0	0	0		
雑収入	0	0	0		
本部業務委託費収入(内部)	0	0	0		
事業活動収入計①	2,040,000	1,877,089	▲ 162,911	92.0%	
人件費支出	1,900,000	600,000	▲ 400,000	60.0%	
職員給料支出	200,000	0	▲ 200,000	0.0%	
職員賞与支出	0	0	0		
非常勤職員給与支出	800,000	600,000	▲ 200,000	75.0%	
派遣職員費支出	0	0	0		
退職給付支出	0	0	0		
法定福利費支出	0	0	0		
事業費支出	24,000	5,180	▲ 18,820	21.6%	
給食費支出	0	0	0		
保健衛生費支出	0	0	0		
教養娯楽費支出	0	0	0		
日用品費支出	0	0	0		
消耗器具備品費支出	0	0	0		
水道光熱費支出	0	0	0		
修繕費支出	24,000	5,180	▲ 18,820	21.6%	
雑支出	0	0	0		
事務費支出	820,000	798,493	▲ 21,507		
福利厚生費支出	0	0	0		
旅費交通費支出	0	2,272	2,272		
研修研究費支出	40,000	21,412	▲ 18,588	53.5%	
事務消耗品費支出	120,000	120,630	630	100.5%	
印刷製本費支出	0	0	0		
水道光熱費支出	0	0	0		
修繕費支出	0	0	0		
通信運搬費支出	360,000	360,000	0	100.0%	
業務委託費支出	180,000	176,314	▲ 3,686	98.0%	
手数料支出	0	0	0		
保険料支出	0	0	0		
賃借料支出	0	2,288	2,288		
土地・建物賃借料支出	0	0	0		
租税公課支出	0	0	0		
保守料支出	120,000	115,577	▲ 4,423	96.3%	
渉外費支出	0	0	0		
諸会費支出	0	0	0		
雑支出	0	0	0		
利用者負担経減額	0	0	0		
支払利息支出	0	0	0		
その他の支出	0	0	0		
利用者等外給食費支出	0	0	0		
雑支出	0	0	0		
事業活動支出計②	1,844,000	1,403,673	▲ 440,327	76.1%	
◆事業活動資金収支差額③=①-②	196,000	473,416	277,416	241.5%	
施設整備等補助金収入	0	0	0		
施設整備等寄附金収入	0	0	0		
設備資金借入金収入	0	0	0		
固定資産売却収入	0	0	0		
その他の施設整備等による収入	0	0	0		
■施設整備等収入計④	0	0	0		
設備資金借入金元金償還支出	0	0	0		
固定資産取得支出	0	0	0		
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0		
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0		
その他の施設整備等による支出	0	0	0		
■施設整備等支出計⑤	0	0	0		
◆施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	0	0	0		
長期運営資金借入金収入	0	0	0		

退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
拠点区分間長期借入金収入	0	0	0	
サービス区分間繰入金支出	0	0	0	
拠点区分間長期借入金収入	0	0	0	
■その他の活動収入計⑦	0	0	0	
長期借入金償還支出	0	0	0	
退職給付引当資産支出	0	0	0	
修繕費積立資産支出	0	0	0	
差入保証金支出	0	0	0	
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	
サービス区分間繰入金支出	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出	81,600	81,600	0	100.0%
その他の活動による支出	0	0	0	
■その他の活動支出計⑧	81,600	81,600	0	100.0%
◆その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	▲ 81,600	▲ 81,600	0	
予備費支出⑩	0	0	0	
◆当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	114,400	391,816	277,416	342.5%
◆前期末支払資金残高⑫	1,562,042	1,562,042	0	100.0%
◆当期末支払資金残高⑪+⑫	1,676,442	1,953,858	277,416	116.5%